

平成25年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

上飯田地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行なったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

地域の現状を把握するために地域の活動・会合等に参加し、状況の把握に努めました。

- ・ 上飯田地区連合自治会
地域活動が活発で担い手も充実しているが、中間層の年代で地域活動をしている方々は少ない。
- ・ 上飯田団地地区連合自治会
高齢化率が高いが、自治会による見守り活動を行っている。自治会長が変わられたこともあり、各自治会での温度差がないように、見守り会議を開催し見守りの重要性についての確認を行いました。
- ・ いちよう団地地区連合自治会
外国人と日本人の高齢化の問題が掲げられている。地域で様々な活動をしている方々の顔ぶれが同じなので、地域活動に広がりが見えない。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・ 施設の老朽化に伴い故障した部分も出たので、故障した部分に関しては早急に業者に連絡し対応した。玄関タイルのひび割れ等も出ていたので修復し古さを感じさせない施設の維持管理に努めました。
- ・ 専門業者による定期的な点検と職員による日常的な巡回を行い施設の維持管理に努めました。

イ 効率的な運営への取組について

- ・ ケアプラザ全体を推進するために各委員会を設置し、分担と連携した効率的な運営を進めました。
- ・ 法人本部で経理・労務業務を担い、業務に専念できるような運営を推進しました。

ウ 苦情受付体制について

- ・ 部門ごとに苦情受付担当者を設置し、館内に掲示しました。
- ・ 苦情及びご意見が話せる手段を幅広く受け付けられる様に、ご意見ダイヤルの掲示やご意見箱の設置を行い、館内に設置の説明を掲示しました
- ・ 利用者アンケートの内容・改善点等、広報誌や館内掲示にて公表しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 日常的に巡回を行う事で防犯防災に努めました。夜間・休日は、機械警備により異常の早期発見に対応しました。
- ・ 特別災害避難場所として災害時における備蓄を整備しました。
- ・ AED を設置することで緊急時にも対応できるように行いました。
- ・ 自衛消防隊を組織し、年 2 回の避難訓練を実施しました。

オ 事故防止への取組について

- ・ 職員会議及び内部研修を行い、事故防止の対策を行いました。また、記録の回覧・朝/夕のミーティングの場において情報共有を図りました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報に関するマニュアルを整備し、全職員に個人情報取り扱い特記事項を配布しました。
- ・ 重要書類・パソコンは、鍵の掛かる書庫に保管しました。
- ・ サービス提供票等、FAX での誤送付を避けるため、事業者へ持参もしくは郵送で送り、書類の受け渡しに配慮しました。
- ・ 書類に関し、シュレッターの活用や専門業者に委託し、機密文書の廃棄に配慮しました。
- ・ 各所有の USB メモリーの所持一覧表を作成し、管理を徹底しました。

キ 情報公開への取組について

- ・ 事業計画書・事業報告書が閲覧できるように窓口掲示をしました。
- ・ 指定管理者及び事業者として運営規定や重要事項説明書の館内掲示により公表しました。
- ・ ケアプラザ広報誌「いずみ一番館」を定期発行し、事業の報告等を載せて情報の公開に努めました。
- ・ ホームページの開設し、情報発信の多様化に努めました。

ク 環境等への配慮及び取組について

- ・ 裏紙を使用することで資源の再利用に努めました。
- ・ 紙ゴミは、自治会のこども会に回収の依頼をすることで、紙ゴミのリサイクルに繋がるように努めました。
- ・ ペットボトルキャップの回収に協力し、CO₂削減に努めました。
- ・ サブコーディネーターによる日常的な点検（設備点検・清掃確認票）を行い、館内及び施設外周の安全確認に努めました。
- ・ ケアプラザ前の花壇の手入れを地域住民の皆様に依頼しケアプラザ周辺環境の美化に努めました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

常勤 3名 ・ 非常勤 2名

《目標》

- 要介護の状態に応じて、必要なサービスが提供されるよう適切なケアマネジメントを実施しました。
- 高齢者自身が目標をもって自立した生活を続けていけるよう、関係機関と連携をしながら支援しました。
- 研修会・勉強会・連絡会等を通じてケアマネジャーのスキルアップを図りました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 高齢者が多い地域であるため、自治会・民生委員と連携して孤立を防ぐよう支援しました。
- 病院からの早期退院者が増える傾向にあり、在宅に向けて関係機関と連携を図り、安心して暮らせるよう支援しました。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
136	141	142	138	136	138
10月	11月	12月	1月	2月	3月
142	149	151	151	152	155

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 常勤 2名

《目標》

- 信頼・安心感を与える介護支援を実施しました。
- 事業所内・関係機関との連携強化及び専門技術の向上に努めました。
- 相談援助技術の向上、専門知識の習熟を目指しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 特になし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
65	65	67	66	65	66
10月	11月	12月	1月	2月	3月
65	63	60	61	61	62

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 健康チェック（血圧・脈拍・体温・体重測定（月1回））
- 入浴・食事
- 日常動作訓練・レクリエーション（アクティビティ）等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	635 円
（要介護2）	747 円
（要介護3）	858 円
（要介護4）	970 円
（要介護5）	1082 円

● 食費負担 750 円

● 入浴費（1回あたり） 53 円

● サービス提供体制強化加算（1回あたり） 13 円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：50 ～ 16：00 （半角で入力 例 9：00～15：00）

《職員体制》

管理者	1名	調理員	5名
生活相談員	2名	運転手（送迎）	3名
看護師	2名		
介護職員	10名		

《目標》

安心・安全に配慮しながら、同世代との交流を楽しんで頂き、心身の健康を長期に維持できるように支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

毎回行う身体機能の維持向上の為の運動の他、四季折々の行事を取り入れ、心身ともに活性化していただけるように努めました。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
380	376	372	388	405	388
10月	11月	12月	1月	2月	3月
393	370	342	324	306	378

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 健康チェック（血圧・脈拍・体温・体重測定（月1回））
- 入浴・食事
- 日常動作訓練・レクリエーション（アクティビティー）等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 2,212 円
 - （要支援2） 4,432 円
 - 食費負担 750 円
 - サービス体制提供加算（1か月あたり） 要支援1 51円・要支援2 102円
 - 運動器機能向上加算（1か月）235円
- ※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:50 ~ 16:00 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者	1名	調理員	4名
生活相談員	2名	運転手（送迎）	4名
看護師	2名		
介護職員	10名		

《目標》

現状を維持しながら、無理のないように、今できることを継続していけるよう心身共に支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

運動器機能訓練を中心とした、筋力維持・向上の運動を積極的に取り組んみしました。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。 【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
21	19	17	17	16	17
10月	11月	12月	1月	2月	3月
17	17	19	19	18	18

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との共通部分（区と協議の上、策定してください。）

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・相談者の主訴をよく聞き、適切に関係機関（区役所・区社協・事業所）等へ繋げました。また、民生委員や地域と協力し課題解決に努めました。
- ・窓口相談・訪問相談のみならず、遠方へは出張相談・出張事業を実施しました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ・4職種の専門性を生かし、個別支援・地域支援それぞれの情報を共有し、支援・事業を実施しました。
- ・個別支援 地域支援それぞれの情報を地域情報シートにまとめ4職種で共有しました。
- ・4職種での情報交換や情報共有を随時行いました。また、定期的に4職種会議を実施し、総合的に支援するように努めました。

3 職員体制・育成

- ・研修計画書を作成し、外部研修にも積極的に参加しました。また、内部研修については、上飯田地域ケアプラザ研修委員会で内容を検討し、職員の質の向上に努めました。
- ・入職後、地域ケアプラザについての研修を行うことで、ケアプラザ職員としての自覚を持つように伝えました。
- ・研修参加者は、「研修報告書」を作成し、回覧し、情報の共有とともに資質向上を進めました。
- ・地域交流部門・地域包括支援センター部門ともに欠員なく、支援の継続性が図れました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ・地域組織・団体（連合・地区社協・民児協・福祉保健組織・団体）等、各種の会議や行事に参加し連携や協働をしながら、地域福祉の推進を図りました。
- ・地域住民の意向や想いを形にできるように話し合いの場を設け、地域力の向上のための支援に努めました。
- ・地域福祉のネットワークを構築していくために、関係機関と緊密な情報交換が出来るような関係づくりを行うように心がけました。
- ・地域支援チームの一員として地福計画推進に向けて区役所・区社協・地区社協・地域団体・地域住民等、ネットワークを組織し、推進を図りました。
- ・ケアマネ連絡会を通じ、各居宅介護支援事業所との連携を図りました。

5 区行政との協働

- ・上飯田地域ケアプラザ担当3地区（上飯田町・上飯田団地・いちよう団地）における地域福祉計画の作成・推進等、地域支援チームの一員として計画の項目を担い、進めました。
- ・区政運営方針を各職員が理解し、運営方針における「地域主体の福祉力」の向上を小地域で進めました。
- ・区担当職員と連携し、包括的・継続的ケアマネジメントを進めました。
- ・担当者会議や事例検討会を行い、個別支援を進めました。
- ・多分野にわたり、行政と協働事業を実施しました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 会議等のみならず、来館者や日常的な交流からも情報収集を進めました。
- ・ 地域の行事や取り組み、福祉保健活動に参加させて頂き、情報収集を進めました。
- ・ ケアプラザの自主事業・連絡会かぼちやの会での食事会・会食会等を通じて、情報収集を進めました。
- ・ 「活動団体紹介シート」を作成し、館内に掲示し、参加増やつながり作りを進めました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 貸館の利用率向上や利用福祉団体増加に向けて、広報誌・HP・上飯田ケアプラザパンフレット等も含め、多様な手段で利用促進に努めました。
- ・ 福祉保健活動に対し、場の提供にあわせ、活動内容（レク等）や活動のPR等、活動支援を進めました。
- ・ 会場利用団体交流会を通じて、活動のつながりを進めました。

3 自主企画事業

- ・ 「一番館ひろば」「カラオケ一番館」「かぼちやの会」といった65歳以上の高齢者を対象とした事業を行う事で、居場所作り・コミュニケーションの場として機能するように努めました。
- ・ 親子料理教室や子育て中の親を対象としたヨガ教室を行う事で、子育て中の親の支援に努めた。
- ・ 知的障碍児の親の会「スナックルズ」を支援し日頃の悩みを話す場として機能させるように努めた。
- ・ 日頃ケアプラザに来る機会の少ない方々を対象とした講座を行う事でケアプラザのPRに努めた。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ ボランティアの募集情報等、館内掲示・広報誌・HP等媒体を工夫し、情報の提供に努めた。
- ・ 泉区社協ボランティアセンター・いずみ区民活動支援センターと連携して受け入れを進めました。
- ・ 広報誌を通じてボランティアの情報提供等を行いました。
- ・ ボランティア名簿を整備・更新し、希望内容・条件等考慮し、紹介し、活動後も困り事等支援をしました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ・身近な相談窓口として様々な相談に対応しました。また、ケアプラザに遠いエリアには、「出張相談会」とし、各戸にお知らせを配布して、自治会館に出向き個別相談、また、気軽に相談できる会として役員の方との情報交換会を実施しました。
- ・民児協に参加し、法テラスの相談会を設けたり地域のサロンに参加、相談会の他、チラシ等を配布し、事業を周知したことで、各事業への参加・自治会役員や民生委員との顔の見える関係作りにつながりました。
- ・高齢者の訪問をしながら安否確認・状況把握を行い、各関係機関につなげました。
- ・自主事業（明寿の会）への参加を勧め家族支援を行い、継続的にフォローしながら訪問しました。

地域包括支援ネットワークの構築

- ・地域の会議やネットワークに関連する施設との会合、例えば住宅公社やゆうちょ銀行等の話し合いの場作りができました。

実態把握

- ・見守り訪問では、情報収集しながら配食サービス利用等、インフォーマルサービスの把握を行い各機関につなげました。事業やサロンのお知らせと参加を促しました。また、地域の会合に積極的に出席し、自治会役員・民生委員・ボランティアより情報交換、収集し、高齢者の支援を進めました。

2 権利擁護

権利擁護

- ・地域のサロン等で消費者被害に遭わないようミニ講座を行いました。
- ・出前講座（4月）では、地域の町内会館で泉警察の生活安全課より高齢者に対して、消費者被害の現状を知り身の守り方を学んで頂く勉強会を行いました
- ・シルバー講座（11月）では、〔区民対象、泉区包括と区・区社協共催〕 悪徳商法を寸劇で行い講師（行政書士）による説明会・個別相談を行い、42名の参加がありました。〔合わせて、成年後見制度も劇&説明会を行い、制度の普及・啓発に取り組みました〕
- ・成年後見制度は、地域の方を対象に9月「後見人について」、10月には（講師＝司法書士）職員・ケアマネジャーを対象とした高齢者支援につながる制度の理解、またケアプラザに遠い地域の方と民生委員を対象に、地区センターを利用して終活講座を開催、テーマを老い支度としエンディングノートを活用しながら勉強会を行いました。

高齢者虐待

- ・成年後見サポートネットの勉強会へ参加し関係機関・団体と連携を図りました。
- ・虐待等疑わしい方、また暴言等により家で苦しんでいる方には、閉じこもりがちな高齢者の場づくりの明寿の会への参加を勧めながら、区や医療機関と情報交換等を行い、支援しました。

認知症

- ・認知症サポーター養成講座を実施し、「誰もが安心して暮らせる地域作り」をこどもも含め地域みんなで取り組むよう講座を開催しました。中学生向けサポーター養成講座には127名の生徒が参加しました。泉郵便局で、窓口・渉外担当の職員を対象にした講座に参加しました。
- ・上飯田キャラバンメイト連絡会を開催し、講座の打ち合わせ等実施して「認知症になっても支えあう」地域づくりを進めました。
- ・担当エリアにおける脳いきいき教室6か所において、訪問し、プログラムの支援を行いました。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

- ・相談時に対象者を把握し、必要に応じて介護予防事業の説明をしました。
- ・地域行事やサロンに出向いて介護予防事業の案内を実施し、対象者の把握を進めました。
- ・介護予防普及啓発強化事業においてチェックリストを実施しました。
- ・活動中のサークルに対する活動上の助言・支援・体力測定等を実施し、介護予防につなげました。
- ・行事等を通じて、声かけ・訪問を実施し、状態の把握を進めました。

介護予防ケアマネジメント力

- ・担当者会議に出席し、自立した生活が営めるよう共通の認識をもち、支援を実施しました。
- ・エリア内の連絡会において、介護予防業務に対して理解を深めるよう学習会を実施しました。4月 誤嚥性肺炎について勉強会を実施しました。
- ・地域資源を生活の中に取り入れていけるよう情報提供して、介護予防につなげられるように支援しました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ケアマネジャーと民生委員との意見交換会を実施し、地域の中で抱えている課題を共有し、問題解決に向けた情報交換を行いました。
- ・エリアの離れている地域住民に対して出張相談会を実施し、介護保険について説明を行い、情報提供の場を持ちました。
- ・地域のインフォーマルサービスをまとめた地域情報シートの更新を行いました。

医療・介護の連携推進支援

- ・エリア内の介護保険事業所・医療機関への聞き取り調査を実施し、内容の更新を実施しました。

ケアマネジャー支援

上飯田ケアマネ連絡会では

- 4月 栄養士を招いて高齢者の栄養についての研修を行いました。
- 5月 爪と足の手入れに関する実習を取り入れたフットケア講座を開催しました。
- 10月 消費生活センターの講師を招き、消費生活センターで対応した悪徳商法等7・9・11月 各民生委員との意見交換を行い、地域で抱えている課題や情報の共有を行いました。
- 1月 区内包括と合同勉強会を開催。
「地域とのつながりを支えるという視点」
講師：八森淳氏
- 2月 社会福祉協議会の講師を招き、あんしんセンターの役割・成年後見制度についての研修会を実施。
- 3月 区内包括合同での勉強会を実施
講師を招き、課題の抽出・制度改正・アセスメント能力の向上についての研修会を泉区内の包括と合同で開催しました。

介護予防事業

介護予防事業

- ・ 介護予防普及啓発強化事業を6ヶ所の地域で実施しました。また、ノルディックウォーキングを実施、24名の参加がありました。1月には歯科医により健口講座を行いました
- ・ 介護予防普及啓発事業を区と共催で開催、地域サロンの住民を対象に介護予防に関する講座を実施しました。(全5回)
- ・ 連続講座を区内5ヶ所の包括と協働で実施、泉区全体で交流を図りながら健康づくりに取り組めるよう支援しました。
- ・ 元気づくりステーション事業(区と共催)
既存のグループに対し現在行っている運動の見直しを行い、内容の充実と活動の強化を図るよう支援しました。
- ・ 健康長寿推進事業(区と共催)
地域の老人会を対象に運動の講座(簡身体操講座)を実施しました。28名の参加がありました。2月には地域のサロンにおいて健康落語を開催しました。
- ・ 自主グループに対して活動上の相談・支援を行いました。また、年2回体力測定を行い体力の維持・向上を図りました。

その他

--